高校阿部野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町
大阪府立
阿倍野高等学校
新聞部

なるか校内放送設備

事務長意志を表明

☆…特別クラブとして昨年四月新発足した放送部は本年度で二年目を迎えるが、数年来の宿願の校内放送設備も昨年度は学校予算がすでに決定されていたために不可能となり本年…☆
☆…度のなりゆきが各方面から注目されているが、先程学校側が本紙に語ったところによる…☆
☆…と、本年度中少なくとも二学期までには放送設備を実現さす意向。…☆

現在の放送部は昨年四月、旧科学部から会則三十九条「必要に応じて特別クラブを置くことができる」により認められ正式に特別クラブとして新発足した。放送部ではすぐ学校側に放送設備費を含む総額四十数万円にのぼる予算を要請したが、学校側ではもうすでに予算を殆んど組み終っていたため、今更四十数万円もの金額を動かすことは出来ないの理由でついに放送部の要請は拒否され、結局学校側からは例年通り拡声器の維持費として二万余円が出たのみで放送設備関係の費用は全然出されなかった。放送部では放送設備がないまま昨年度一年間を歩みつづけてきたが、新しい会計年度が始まるとともに再び学校側に放送設備を要請しているが、学校側は昨年度の卒業生から集められた寄付金を今度の放送設備費として当てる意向であり、本年度の放送設備設立の夢も実現される可能性が強く、見通しも明らかとなつている。放送部部長相川君（三年）は放送設備に関して次のように語つている。

相川放送部長談　昨年科学クラブから放送部として改名までして発足した以上、放送設備のないことが全く残念でならない。現在の放送部では放送設備どころか、テープレコード一台すらなく、拡声器だつて相当いたんで、部では新しいラジオセットを貰うこともできず一台のラジオを組んだりはずしたりしており、このような現状であるからあるいは放送設備など金額のはるものを望むのは無理な話かもしれない。しかし現在の放送部は朝礼の時の拡声器準備が主な仕事のようで、これではせつかく特別クラブとして属しているのに生徒に部の存在を明らかとするのは不可能である。もちろん部では校内放送に関しては今のところ無知であり、ただ滑舌法の練習をしているが、部の歴史が浅いため放送技術者がなく、指導者もないだけに問題もあるが、放送設備がなされるためには放送室も必要で、現在の物理準備室では用をなさない。本年度は夏休み中に設立される模様で大変嬉しいことであるが、この放送設備に関しては要するに生徒と先生にもつと関心をもつていただきたい。これに対して西村事務長は次のような意志を表明している。

西村事務長談　校内放送設備は是非必要で今になつて考えていることではない。設計その他の専門的なことは顧問の金沢先生が研究されているが、東芝や早川などの会社ともよく相談して、実現さす以上は完全な立派なものを望んでいる。少なくとも二学期の重要な学校行事には間に合わすつもりで夏休み中には完成されるだろう。昨年度の卒業生の寄附金をそれに当てるつもりだが、相当金額がは行つているが、部の歴史が浅いため放送技術者がなく、指導者もないだけに問題もあるが。放送設備がなされるためには放送室も必要で、現在の物理準備室では用をなさない。本年度は夏休み中に設立される模様で大変嬉しいことであるが、この放送設備に関しては要するに生徒と先生にもつと関心をもつていただきたい。これに対して西村事務長は次のような意志を表明している。

西村事務長談　校内放送設備は是非必要で今になつて考えていることではない。設計その他の専門的なことは顧問の金沢先生が研究されているが、東芝や早川などの会社ともよく相談して、実現さす以上は完全な立派なものを望んでいる。少なくとも二学期の重要な学校行事には間に合わすつもりで夏休み中には完成されるだろう。昨年度の卒業生の寄附金をそれに当てるつもりだが、相当金額がは

高新連支部会開く

全国高校新聞連盟大阪支部会ではかねてより活発なる活動をつづけているが、去る二十日、例会を開き、今後の方針を協議した後、松竹本社において映画「うるわしき歳月」試写会に出席した。

弁論同好会

クラブとして発足

宗教研究・煎茶同好会生る

本校自治会の証認で弁論同好会が弁論部として新発足し、続いて新らしく宗教研究、煎茶の二同好会が発足した。

去る一月二十七日、弁論同好会が同志数名で結成され、約三ケ月置いた五月四日証認され、弁論を志す組にとつて、ほほえましい話題を投げかけている。同部では円満なる人格完成と社会人としてのエツセンス向上を目標とし、平素雄弁を身につけることを目標にしていると語つている。又校内弁論大会を本クラブ主催又は自治会集会部と共催したい旨を表し、今春は他校から、二回の案内状を受けたが成立早々本準備の点で、すべて断念、秋には万々の開場で五回程の大会がある予定で、これらの出場が期待されている。クラブ員も今年度七名の一年生を加えて二十名、幸先よいスタートで滑り出している。校内においては年二回位の開催が計画されている。

宗教同好会は五月上旬自治会で正式に証認され、発足し、現在同志十三人で顧問は政本先生が担当され、月一回実地研究会が行われる予定。去る五月十六日第一回部会が行われ、今後の方針等が検討された

煎茶同好会は三月十八日自治会で証認され、この日をもつて発足し現在は二十一人の同志があり、顧問は松隈先生が担当作法室で週二回会がもたれ、人格向上、精神修養をモットーとしている。同会は六月の下旬には正式にクラブとして発足する見通しが立てられて先だが、学校側ともはつきりと話合いをつけねばならない。と語つておられる。今後の動きが注目されるが、今のところ実現の見通しはつきり決定していないが、可能性が大である。

席記者議會

沈默は金なり

依然靜かなる議會

◇…昭和三十年度初の議会は、修学旅行学年代表再選挙等のため、例年より遅れて五月六日開かれたが、前年度後期議員も出席というのに出席者はいたつて少い。定刻より十分遅れて会長のいとも簡単なる挨拶で開会。

◇…新議長さん時間に制約されてか、それとも不慣れなせいか何の労をねぎらう言葉もなしに旧議員に退場を願い、顧問よりアドヴァイスされていいなおしたが、四月二十一日で同好会としての活動期間を終えたのでクラブとして承認するかというのであるところが議員諸君〝沈黙は金なり〟とでもいうのか全々声なし。しびれをきらした議長さん「声なきをもつて承認されたものと認めます」

◇…部会編成＝文化、運動、集会、厚生、風紀、会計等の分掌が決められ、一応議題は全部かたづいたのであるが、終始議場をおおつていた白けた空気を直すためにも、議員の活発さが望まれる。

（F生）

他校蘭

自由党支持が最高

女子岸高で世論調査行わる

【岸高校発】岸高校では「政治について」の世論調査を行い、その結果を次のように報じている。一部を拾つてみた。

◇あなたの支持政党は何党ですかこの問題は最近の学生の政治感覚を知るのに最良のものと思われたのが案外無解答の組が多かつた原因は昨年の汚職、乱闘国会など政党の信頼を失落せしめたことにかからるしい。従つて信頼する政党を存ぜずと言う意味もその中に含まれて居ろうが、しかしその中の大部分は解らないと言つた気持が強いらしい。解らないとは党派とは別な思想を持たない人のことであり危険な傾向である。調査の結果自由党が全体の二十%で一位その内三年が三十六%二年三十%一年三十五%の女子の支持率が高い。男子だけによると民主党がわずかに自由、両社を抜いているそうだ。しかし女子の支持は多分に気分的感情的な所もあるそうだ。しかし三年男子で右社を支持するものが全体の二十四%で一番多く逆に三年女子は左社を二十八%支持して居り自由に続いて二番目であつた。これから社会の荒波に出て行こうとする男子とどうしても見解の相違は争えないと岸高では報じている。

E・S・S井上氏を招待

E・S・Sでは去る十四日、午後二時から約二時間にわたり本校教室で本年度初の外来者招待英語会話会を井上貞信氏（岩井産業勤務）を招いて行われ、井上氏の語るアメリカ生活の話など意義ある楽しい時を過した。

論説

自治會を批判せよ

今年度の前期自治会役員選挙も先月下旬、平穏に終り、第一議会も去る六日開会され新しい会計年度が始つたが、われわれは今年度の自治会活動に何らかの進歩を企てるため昨年度の自治会活動を中心に根本的なものを回顧し、反省して今年度の自治会活動に望むことは有意義なことであり、必要なことでもある。昨年度を問わず過去の自治会活動はおよそ自治会の執行委員と会員であるわれわれとが分離して、われわれの無関心のうちに自治会が活動されている。例えば本校のクラブ活動は極めて活発に行われているが、実際に活動を行つている者は一部の者で、どうひいき目に見ても、クラスの約三分の一という現状で大部分はクラブ活動の傍観者である。しかし、われわれは毎月百円という金額を授業料と共に納めている。クラブ活動で活動しない者はこうした自治会費を他人に委ねるだけで、単なる奉仕者的存在であり、これがクラスの約三分の二あるのだから、極めて問題化されるに価値のあるものである。もちろん自治会はクラブ活動ばかりに当てられているのではないが、それでもクラブ活動の予算が主な支出であるから強調されるのである。

このような問題は今いつて急に打開策のとられるものではないし、また生徒の無関心が手伝つて打開策も簡単に実を結ばない。過去において このような問題が種々考慮された事実はみられるが、生徒の無関心、無自覚は年々歳々変りなく、また本年度も再び同じコースをとらないとも限らないのである。

しかし、われわれは毎月百円という金額を授業料と共に納めている。クラブ活動で活動しない者はこうした自治会費を他人に委ねるだけで、単なる奉仕者的存在であり、これがクラスの約三分の二あるのだから、極めて問題化されるに価値のあるものである。もちろん自治会はクラブ活動ばかりに当てられているのではないが、それでもクラブ活動の予算が主な支出であるから強調されるのである。

このような問題は今いつて急に打開策のとられるものではないし、また生徒の無関心が手伝つて打開策も簡単に実を結ばない。過去において このような問題が種々考慮された事実はみられるが、生徒の無関心、無自覚は年々歳々変りなく、また本年度も再び同じコースをとらないとも限らないのである。

ぼならないかということを強調しているのである。

生徒はすべて自治会の会員であるから、当事者もないだけに問題もあるが。

これに対して放送部顧問金つきりしたことはない。今月中はまない。東芝と相談

の問題の具体策とし生徒集会を多く持つことが必要であると語つておられるが、それも一つの有意義な対策として注目される。生徒会はわれわれの学生生活を意義ある印象的なものにするだけでなく、われわれ自身の教養を向上さす上にも極めて特筆すべきものがある。それにもかかわらず、昨年度の生徒集会は数えるにも足らぬ一、二回であつたということは、完全に執行部にわれわれがコントロールされていることを意味し、われわれの有利な方向に活動がなされないということは、われわれの関心や自覚が如何に貧困な状態であるかを物語るに十分である。

もちろんこれは生徒集会に限つたわけではないが、月に一回は原則として許されている生徒集会を何故われわれはその権利を放棄せねば時の政治に動かされる政治になりがちである。世間の人々に政治について、やれ腐敗だ、やれ堕落だとのののしり、それをもつて来た自己の政治に対する無自覚、無関心が与えられなければならないからの理由となし、かつ当然のことのように考えているが、政治に対する認識不足が明らかにされるのみ、「自覚」とを新しい会計年度の問題として強調する。

われわれは自治会の執行部に動かされるだけの生活ではなくて自治会に対して権利と義務と責任をもつた態度でなくてはならない。端的にいえば、自治会を行う立場、コントロールする立場に立たねば嘘である。これは現在のホームルームアワーの改善ということが問題になり、かつ必至とみられるのである。生徒に発言の機会が与えられなければならないからである。これらのことは概して一般国民の政治の認識ということにも結びつけて考えられる。世間一般の人は政治をする立場を忘れて時の政治に動かされる政治になりがちである。世間の人々に政治について、やれ腐敗だ、やれ堕落だとのののしり、それをもつて来た自己の政治に対する無自覚、無関心が与えられなければならないからの理由となし、かつ当然のことの

再び住吉に凱歌

住吉 阿倍野 第二回綜合体育大会終る

両校自治会主催の第二回住吉、阿倍野総合体育大会は去る十一日午後十三時半から本校を会場として華々しく挙行され、優勝目指しての戦いは互に相譲らず、若さと意気で終始白熱戦を展開、優勝は最後に残つた男子バスケットが終るまで決定しなかつたが、栄光のクラウン・イーグル旗は再び住吉の手で握られ、午後五時、約四時間半にわたる熱戦の幕を閉じた。本紙では対住高戦の結果を特集してみた。

野球

○阿倍野 6—4 住吉

阿倍野	0	0	0	0	0	0	4	0	2	6
住吉	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	4

【試合経過】一回裏住吉の攻撃は一死後三安打を集中して二点を先取。その後住吉は打撃ふるわず低調な攻撃となつた。一方阿倍野はしばしばチャンスに恵れたが決定打をかき思わぬ苦戦となつた。しかし七回表一死後四球二つと一安打を足場に満塁のチャンスをつかみ、続く内原君のセンターオーバーの三塁打は走者一掃し、更に一点を追加し合計四点を獲得逆転した。その裏住吉は、左中間の二塁打でランナーを二塁におくり、二死の後代打者の二塁打と安打を集中して二点を獲得同点に持ち込んだ。九回表阿倍野の長打陣は二塁打二本を足場に三安打を集中して二点を挙げ試合は三転した。その裏期待された住吉の攻撃は二死一、二塁と阿倍野の松本投手をせめつけたが、次打者三振して後続ならず6対4で阿倍野の勝利となつた。

【戦評】チームワーク、実力共に一日の長ある阿倍野は、終始試合を押し進めた。しばしばランナーを得点圏内に送つたが決定打をかき思わぬ苦戦となつた。なお前半出場した阿倍野高の一年長沢君は未完成ながら前途有望な新人である。

陸上

阿倍野 33—36 住吉○

【走高跳】①北山(阿) 1・16米 大会新②村瀬(住) 1・64米大会新③根本(阿) 1・55米【百米】①井上(住) 11秒8大会新③片岡(住) 12秒2【四百米】①中西(阿) 57秒4大会新②林(阿) 57秒8大会新③小谷(阿) 58秒8【走巾跳】①井上(住) 6・37米大会新②片岡(住) 6・6米③中川(阿) 5・71米【槍投】①藤井(住) 47・12米大会新②中村(阿) 45・38③片岡(住) 35・9米【三段跳】①片岡(住) 12・95米大会新②井上(住) 12・51米②水口(阿) 11・74米【二百米】①中川(阿) 25秒2②藤井(住) 25秒4③中西(阿) 25秒8【八百米】①浅野(阿) 2分14秒9大会新②林(阿) 2分18秒1大会新③西村(住) 2分25秒8【千五百】①浅野(阿) 4分40秒6②西村(住) 4分52秒9③徳田(阿) 5分8秒0【砲丸投】①杉本(住) 11・69米大会新②安田10・4米大会新③林(阿) 9・92米大会新【円盤投】①井上(住) 31・30米②藤井(住) 29・46米③水口(阿) 23・53米【八百継】①住吉1分42秒3②阿倍野1分43秒2

【戦評】両軍互に譲らずの接戦を展開した。予想通り阿倍野は中距離に強く、浅野選手が八百、千五百の二種目に優勝し、今後の生長が楽しまれる。しかし円盤投では住吉にみすみす譲つている感がある。八百継は昨年に較べて見劣りがするようだ。

籠球

【男子】

阿倍野 40—41 住吉○

阿倍野 40 (23—16, 17—25) 41 住吉

(延長戦の末決る)

【女子】

○阿倍野 31—19 住吉

阿倍野 31 (18—9, 13—10) 19 住吉

【戦評】男子バスケットが最後に残り、優勝を左右する一戦となつた。前半リードし試合を優勢に進めていたが、住吉の食い下りに屈した形である。実力が十分発揮されない感がある。女子は前半・後半とも危げない試合運びだつたがしファイトに欠けている。

卓球

【男子】

○阿倍野 3—1 住吉

【シングルス】

○竹中2 (21—14, 21—15) 0 森島(住)

(阿)

○佐古2 (21—18, 21—3) 0 堂本(住)

(阿)

○阿倍野 3—1 住吉

【ダブルス】

○竹中 佐古2 (21—12, 21—0) 0 林 角尾

【戦評】阿倍野は確実に攻めて完全に威力あるプレイを示し好調を続けて危機なく快勝した。佐古君を中心に充実したメンバーであつた。

柔道

阿倍野 5—6 住吉○

【阿倍野】長谷川(引分け) 山崎○新瀬(跳腰) 水谷○八木(背負投) 丹治○安井(払腰) 天野○塚本(小内刈) 松川○西尾(引分け) 多田○佐藤和(大外刈) 伊納○神戸(出足払) 白倉○源内(押込み) 馬場○渡辺(引分け) 金丸○張(引分け) 岡田○山口(押込み) 稲田○佐藤小(大外刈) 笹井○横川(大外刈) 平野○津村(釣込腰) 柏原○

【住吉】

【戦評】阿倍野は前半試合をリードしたが後半に入つて住吉強みを発揮し、阿倍野は住吉の作戦に屈した。総じて両軍ともに昨年に比べて持ち駒がなく、実力も劣る感がある。しかし阿倍野の新瀬君の跳腰の大業はよくきまり、彼のもつ鋭い敏感な動ききにマッ[illegible]かにきめている。[illegible]各選手にキメ業が調であつた。しかフェアな試合が[illegible]賞すべきである。

体操

【男子】

○阿倍野 4—0 住吉

(阿) (住)

中西 乾 (3—1) 坂本 小野

村田 神戸 (3—1) 竹井 山崎

【女子】

徒成①内海(阿) ②西村(阿) ③小笠原(住) 平行棒①内海(阿) ②前田(阿) ③小笠原(住) 平均台①小笠原(住) ②西村(阿) ③前田(阿)

軟庭

【男子】

○阿倍野 4—0 住吉

(阿) (住)

中西 乾 (3—1) 坂本 小野

村田 神戸 (3—1) 竹井 山崎

【女子】

徒成①内海(阿) ②西村(阿) ③小笠原(住) 平行棒①内海(阿) ②前田(阿) ③小笠原(住) 平均台①小笠原(住) ②西村(阿) ③前田(阿)

男子排球

【戦評】阿倍野女子は本年度初めての出場であるが、上々の成績を収めた。しかし技術的にまだまだ研究の余地がある。

武田 新田 (3—0) 坂田 向井

武田 新田 (3—2) 竹井 山崎

【戦評】風が強かつたため両軍とも実力の出ていない試合であつたが、阿倍野は昨年に較べて住吉をことごとく圧している。今後の成り行きが期待される。

【女子】

○阿倍野 (阿) (住)

河内 樋口 浜田 沼屋 (1—3) 桑田 山田

(3—0) 坂井 浜本

【戦評】

○阿倍野 2—1 住吉

阿倍野 2 (21—18, 11—21, 21—18, 21—13) 1 住吉

【戦評】両軍ともチームワークに恵まれ、予想通り五分と五分の押し合で延長戦に持ち込まれ、ついに阿倍野の勝利におさまつたが、サーブにおいて阿倍野は住吉を卓越し、勝敗の分かれ目となつている。

女子排球

阿倍野 2—1 住吉

硬庭

阿倍野 2—住吉 3○

阿倍野 2 (単1—2, 複1—1) 3 住吉

男子排球部

府民大会に優勝

去る五月三日より始まつた府民大会バレーボールリーグ戦で躍進本校男子バレーボール部が堂々一部で優勝した。優勝の喜びをキャプテンの山本君は次のように語つた。山本君談今までの練習のかいあつて一部で優勝ができ、生徒諸君の期待にそえて部員一同大変うれしく思つています。今後も一層の努力をしてその地位を保とうと思います。対北野高校戦のときは、既にうちの優勝が決つていたため選手も気を許してか敗れましたが今後再びそのようなことを重さねないよう注意します。今後もみなさんの御声援をお願いいたします。なお女子排球部は同大会で三部で三位を獲得、ソフトボール部も泉陽高校に惜敗して第三位となつた。

総評

昨年より実力は接近 ほしい大會歌

(総評) 第二回総合大会も何の事故もなく成功裡に終えたことは大いに喜ぶべきことである。気遣われた天候ではあつたが絶好の運動日和に恵まれ両校選手諸君日頃きたえた練習の成果を遺憾なく発揮し観覧の生徒諸君の声援などが功を奏しこのようなシーソゲームが演じられたものと信ずる。自治会役員はもちろんの事先生方の御努力も決して忘れてはならないやや難を云えば試合運びが余りスムーズに行われていない。もつとも狭いグランドや、人数の多い事が影響しているとろうが、まだ少し考える余地があると思う。応援団の件であるがただ両校運営の間だけで生徒の意見も余り聞かずとりやめにしてしまつた事は、考えねばならない問題を含んでいるようである。

昨年に見られなかつたところでは先輩をとり囲んで作戦など練つている風景で、いかにも学生試合という印象を与えてよい。両校生徒が互いに親しく話し合つているなど、親善の意義ある姿であつた。しかし閉会式までに帰つてしまつていたりする生徒がかなり見うけられたがたとえ興味がなくつてもいつたんはじめたことは一応観戦すべきであろう昨年より一歩と云うところで勝利を逸していると云う声が住高の選手から聞かれる試合が多く、来年こそはクラウンイーグル旗を本校に飜がえされんことを望む。最後に自治会顧問として荒井先生に感想を語つて頂いた。

「第二回総会大会を無事終える事が出来たこれも選手諸君の努力、生徒諸君もよく協力し声援を送つてくれた結果と当事者として感謝に堪えない、ただ一つ残念な事は文字通り白熱の接戦の末再度優勝旗を住高に持ち去られた事だ。しかし両校の技術が紙一重の差に接近したことは昨年の大会と比較して選手諸君が如何に精進し敢斗したかを物語るものだ。「やれば出来る」この平凡な信念がスポーツのみならず日常の勉学に生活に大きな推進力となる事を信じて疑わない。

阿倍高怒るべし来年は追い付かれる事を忘れない。本校の体育施設も次第に充実しつつある。各運動クラブはこれを十分に活用して来るべき高校選手権、国民体育大会には更に一段の活躍をして来年こそは緑優勝旗を阿倍野厚頭に奪回したいものと思う、この大会は自治会主催によるものであり従つて生徒諸君一人々の手によつて運営されるものである事に大きな意義がある出来たら来年からは「大会歌」を制定して開会式を飾りたいと思つている諸君の建設的な意見も伺いたいと思う最後に繰返し選手諸君の敢斗と生徒諸君の声援並びに運営委員諸君接待等に自発的に協力された家庭クラブ諸君に感謝の意を表したい。(Y)

對住高戦スナップ

【写真説明】

①開会式風景(屋上から)
②敵まさに来る
③プロレス以上の大盛況(男子バスケット)
④我が娘の活躍如何に(女子バスケット)
⑤百米ゴールイン、一着井上君(住)二着
⑥女子バスケットの熱戦、阿倍野シュート決る
⑦リング橋本君のあざやかなホーム
⑧優勝旗授与